

【著作紹介】作家、学者、哲学者は世界を旅する《人類学の転回》



著者：清水 高志（総合情報学部総合情報学科 教授） 【訳書】

出版社：水声社

出版年：2016年10月発行

価格：2,500円＋税

ISBN：9784801001985

[所蔵状況を確認する](#)

<http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102259385>

内容：

〈哲学〉における幹-細胞を見いだす――。

21世紀になり新たに勃興したモノやノン・ヒューマンを巡るさまざまな思索や、人類学の存在論的転回（オントロジカル・ターン）とも深く絡み合いながら、諸学問の歴史にまつわる知見の膨大な蓄積を背景に、セールの思想の画期的な新展開が、ここに語られる。

[水声社の紹介ページ](#)

<http://www.suiseisha.net/blog/?p=6256>

教員メッセージ

フィリップ・デスコラの人類学書に触発されて書かれたミシェル・セールの魅力的なエッセイの邦訳。あらゆる地域と時代の人類の営みと自然の呼びかけに耳を傾ける書物です。訳文も正確で文学性が高いものです。約400の注が付いており、理解を助けるようになっています。

目次

序章 三つの世界旅行

第一章 われらがトーテミストの系譜

第二章 魂は皆のために、衣服はおのおののために

第三章 私（モワ）、モナド、アナロジスト

第四章 自然と文化の婚姻

終章 幹

訳註

訳者解説

[著者] 清水 高志 (シミズ タカシ)



東洋大学総合情報学部総合情報学科教授（専攻、哲学）。

主な著書に、『ミシェル・セール——普遍学からアクター・ネットワークまで』（白水社、2013）、主な訳書に、ピエール・レヴィ『ポストメディア人類学に向けて』（共訳、水声社、2015）、ミシェル・セール『作家、学者、哲学者は世界を旅する』（水声社、2016）などがある。

関連リンク

[東洋大学研究者情報データベース（清水高志教授）](http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.98c14e15691e1412c104f91db5773376.html)

<http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.98c14e15691e1412c104f91db5773376.html>

[メイヤスーと思弁的実在論（東洋大学学術情報リポジトリ）](http://id.nii.ac.jp/1060/00008855/)

<http://id.nii.ac.jp/1060/00008855/>

[純粹経験論が目指したもの—西田幾多郎とジェイムズ、円了（東洋大学学術情報リポジトリ）](http://id.nii.ac.jp/1060/00007968/)

<http://id.nii.ac.jp/1060/00007968/>